

さいたま市発達障害者支援センター 御報告

＜御報告＞

1：相談支援

発達障害者、その家族、支援者等からの相談に応じ、各種情報提供や指導・助言を行います。特に、18歳以上の方については、アセスメントを行い、障害受容・自己理解・情緒の安定・二次障害の予防等、発達障害者に特有な諸問題への対応や、就労、社会参加に向けた継続的な相談支援を行います。また、関係機関からの依頼に応じて、機関コンサルテーションを行います。

※継続・来所相談は、18歳以上の方を対象とします。18歳未満の方に対しては、他機関と連携しながら、情報提供や対応についての提案を行います。（参考：直近4年間の相談実人数の推移）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談実人数 (人)	1234	904	860	831	700 ※2
相談延べ人数 (件数)	4042	3373	3329	4022	2991

※1. 令和2年度よりコロナ禍が始まり、その影響が相談実績にも反映されている。

※2. 令和5年度については、12月末日までの数値を記入。

2：発達障害に関する普及啓発

普及啓発のための事業として、世界自閉症啓発デー及び発達障害啓発週間に係るパンフレット等の作成や、各種講座の開催を行っております。普及啓発事業の一環である講座については、本人向け、本人家族向け、家族向け、支援者向けの4つを対象に実施しました。今年度は18回の開催を実施・予定しており、本人向けは2回、本人家族向けが4回、家族向け4回、支援者向け8回となります。

令和5年度 発達障害者支援センター講座一覧				
通番	開催月	対象者	内容	参加人数
1	5月	本人、家族	趣味の講座 季節を感じる折り紙制作	5人
2	6月	本人、家族	趣味の講座 アロマ体験 ～自分でできるハンドマッサージ～	8人
3	7月	本人、家族	納涼 夏休み	12人
4	9月	家族	対応のヒント～家族の距離とコミュニケーションについて考える～（第1回）	9人
5	9月	支援者	「地域で活躍する・わくワーク講座 相談の入り口における発達障害への気づき①」	8人
6	10月	支援者	「地域でともにささエール！① 発達障害の“個性”としての理解と受けとめ」	14人
7	10月	家族	対応のヒント～家族の距離とコミュニケーションについて考える～（第2回）	6人
8	10月	支援者	地域で活躍する・わくワーク講座 発達障害者の加害と被害	18人
9	11月	支援者	「地域で活躍する・わくワーク講座 相談の入り口における発達障害への気づき②」	8人
10	11月	家族	対応のヒント～家族の距離とコミュニケーションについて考える～（第3回）	12人
11	11月	支援者	地域でともにささエール！② 発達障害の就労支援の現在	13人
12	12月	本人、家族	癒しのホッと♪クリスマスコンサート	12人
13	1月	本人	情報交換会・交流会（第1回）	6人
14	1月	家族	依存症の基本的理解と家族の対応について	4人
15	3月	本人	情報交換会・交流会（第2回）	9人
16	3月	支援者	グループスーパービジョン（予定）	
17	3月	支援者	地域を支援する～発達障害との関わりから～①（予定）	
18	3月	支援者	地域を支援する～発達障害との関わりから～②（予定）	

3：学生向けキャリア形成支援事業・発達障害者社会参加事業

学生向けキャリア形成支援事業は高校生年代を含む10代から20代の若い世代の方を対象に、うつ病など精神疾患や引きこもり、暴力行為などの二次障害を予防し、その人らしい自立を考えるきっかけとすることを目的として実施しています。今年度は、本人向け、家族向け、教職員向け、支援者向けの4つの講座を8回開催致しました。発達障害者社会参加事業につきましては、発達障害者の社会からの孤立化を防ぎ、その人らしい社会参加や就労の第一歩として、当センターの利用者を対象に業務委託による居場所や日中体験活動の場の提供を行っています。今年度も当センターと連携しながら、利用者の特性に沿った支援に取り組んでいます。

	開催月	対象者	内容
1	6月	家族	発達障害基礎講座 ～個性を輝かせるための家族の役割～
2	7月	支援者	家族支援から思春期の発達障害について理解を深める①
3	7月	本人	未来へのステップアップ講座①
4	8月	教職員	保護者との連携の在り方～発達障害という個性を支える～
5	8月	本人	未来へのステップアップ講座②～チャレンジ編1～
6	11月	支援者	家族支援から思春期の発達障害について理解を深める②
7	11月	本人	未来へのステップアップ講座③～チャレンジ編2～
8	1月	支援者	家族支援から思春期の発達障害について理解を深める（追加開催）

4：発達障害者支援連絡協議会

さいたま市発達障害者支援連絡協議会は、発達障害者支援法に基づき、医療、保健、福祉、教育および労働等の各機関を代表する実務者同士が集い、本市における発達障害児者支援の現状について共有を図り、地域支援体制の構築と生涯にわたる切れ目のない支援を提供していくことを目的としています。

令和5年度は、20名の委員のうち15名が初めて委嘱・任命された委員という構成で始まりました。委員の皆様からは、切れ目のない支援体制のために、顔の見える関係性づくりやそれぞれの支援機関の強みを知ることが必要との声が上がりました。そのような実務者同士の繋がりを強化する仕組みづくりを検討するにあたり、まずは発達障害者支援連絡協議会委員同士でのグループワークや情報交換を実施し、活発な話し合いを通じてそれぞれの所属機関についての理解を深めました。

5：次年度について

「発達障害者地域支援マネジャーの配置による地域支援体制の強化事業」を、業務委託により実施します。

<御案内>

・世界自閉症啓発デー及び発達障害啓発週間について

4月2日の「世界自閉症啓発デー」及び4月2日から8日までは「発達障害啓発週間」として、社会全体で自閉症を含む発達障害の啓発に取り組む機会とされています。各自治体の関係機関はライトアップや啓発イベント等の広報・啓発の取組を実施しています。当センターとしても、啓発パンフレット、ポスター等を作成し、市民や関係機関に配布しますので、御協力の程よろしくお願い申し上げます。また、当センターもライトアップの実施や啓発物品としてテーマカラーの青を中心とした「さをり織り」の展示、啓発デーについての説明をイラストつきで掲示しておりますので、お近くを通った際に、御覧頂けると幸いです。